

令和元年度 通常総会議事資料

<2019年6月1日>

<議 事>

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 2019年6月1日(土) 14:00~16:00 受付開始 13:30 |
| 2 会 場 | 仙台国際センター
仙台市青葉区青葉山無番地 |
| 3 付議事項 | 第一号議案 平成30年度事業報告並びに決算及び監査報告について
第二号議案 令和元年度事業計画並びに予算について
第三号議案 令和元年度役員の選任について |

特定非営利活動法人
日本ファシリテーション協会

平成30年度事業報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

調査・研究事業: 定例会や例会、合宿等で、ファシリテーションの「普及」「探究」を意識した会員相互の研鑽の場を作るとともに、FAJ内外のファシリテーターの協働を通して、ファシリテーションの活用を探究する場をつくった。

教育・普及事業: 基礎セミナー及びアフターミーティングを全国で開催し、運営においてはセミナー・サポート・センター(SSC)を立ち上げ、全国の運営の効率化・相互協力を促進した。また新コンテンツの開発・試行を実施した。

支援・助言事業: ファシリテーションの多様なニーズに対応するための運営の改善、コーディネーションの充実を図り、会員への理解を広げるとともに、一方で発災後の復興支援ニーズに合わせたファシリテーションを届けた。

交流・親睦事業: 多彩なテーマにより全国各地で地域イベントを開催したことはじめ、IAF大会の共催により国境や文化・言語を越える国内外のファシリテーターとの知見の共有とIAFとの交流・連携を強化した。

広報・コミュニケーション活動: FAJ内の活動や、知見・事例を組織外に発信するための広報のあり方について整理し、体制の見直しを行った。WEBサイト移行を実施し、運用定着に向けたサポートを行った。

ミッションおよび組織運営に関わる活動: オンライン会議システムによる「対話と議論」の場を開き、会員の自律的な動きを促進するとともに、全国運営スタッフ会議の開催によって運営に関わる会員の課題の共有や交流を促進した。

以下、事業計画に沿って、事業の概要を報告する(括弧内は担当組織を表す)。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会、プロジェクト)

- 定例会や例会、合宿等の場を通して、地域やテーマの特性に合わせ運営しながら、ファシリテーションのインパクトを現場に届けるため、ファシリテーションの「普及」「探究」を意識した会員相互の研鑽の場をつくった。
- 多様な領域・テーマについて、「学び」と「実践」の双方の視点から、FAJ内外の全国のファシリテーターの協働の場を通して、ファシリテーションの活用を探究する場をつくった。

2) ファシリテーションの本質を研究(理事会、シンポジウム実行委員会)

- ファシリテーションの「研究発表」及び「F力測定」をメイン・プログラムとした、ファシリテーション・シンポジウム『ファシリテーション再考』を6月2日、3日に札幌で開催し、会員、非会員含め199名が参加した。
- ファシリテーションの本質の研究の場としてのシンポジウムを終了し、シンポジウムに替わる全国イベントのあり方について検討した。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- 後述のとおり、26会場40クラスのセミナーを開催した。またアフターミーティングを4回開催した。
- 新たに正講師1名、准講師が1名誕生した。また、基礎セミナーのコンテンツをよりわかりやすくアップデートした。
- 委員会内に、地域を越えてセミナー運営をサポートするセミナー・サポート・センター(SSC)を設置した。20件程度のセミナーを対象に、運営の効率化・相互協力をを行い、スムーズな準備・運営を図った。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会、公開セミナー委員会)

- 前年に開発した実践編コンテンツ試行版の改良を重ね、委員・アソシエイト及び会員有志を対象としたパイロットセミナーを2回実施した。事業化に向けて対象者やインストラクションのあり方等の課題を確認・整理した。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

1) 支援活動への理解の促進(ファシリテーションサポート委員会)

- ファシリテーションサポートデスクでは、案件に関わるファシリテーターを意識的に拡大することを通して、会員に対するサポートデスクの活動理解を促進した。復興支援グループでは定例会企画や板書練習会開催などを通じて会員に活動内容を知ってもらう機会を設けた。

2) 社会からの多様な要請に対する支援(ファシリテーションサポート委員会)

- ファシリテーションサポートデスクは3年目に入り、行政・各種団体、NPO、企業等の多様な分野から寄せられる様々な相談や依頼に対し、抱えている課題やニーズの丁寧なヒアリングをもとに、ファシリテーションを活用した支援を提供した。
- 復興支援グループは、平成30年7月豪雨を含む被災地からの要請により、発災後の復興支援ニーズに合わせたファシリテーションによる支援を地域の会員とともにいった。また、防災に関する各種活動の場においてもファシリテーションの普及に取り組んだ。
- NPOとして災害復興支援活動をより明確に社会へ訴求するため、災害復興委員会の設置を決定した。

3) 実践内容の分析及び社会的課題のサーチ(ファシリテーションサポート委員会)

- 案件の分析に着手し、相談件数、依頼内容の動向や変化に関する把握作業を進めた。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 各地域において多彩なテーマで支部イベントを開催し、FAJ内外にファシリテーションのインパクトを届けた。

2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化(理事会、グローバルファシリテーション推進委員会)

- IAF-Japanとの共催により9月にIAFアジア大阪大会を開催し18カ国・地域から193名(オンライン30名)が参加した。国内外のファシリテーターが交流し、ファシリテーションの知見やスキルの共有を行い、IAFとの連携を強化した。
- 災害復興支援室活動報告「ファシリテーション わたしたちにできること」の英訳を完了し、ホームページで公開、国内外に情報提供した。
- 東京支部定例会で英語ファシリテーションを提供した。また、在住外国人支援団体との連携を検討するなど、ファシリテーションを必要とする現場の開拓に努めた。

3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、事務局)

- 他団体のイベントに、運営やファシリテーターとして協力するなどの取り組みを行った。

5 広報・コミュニケーション活動

1) FAJ活動を内外に発信する広報活動の継続(ウェブ編集委員会、ニューズレター編集委員会)

- FAJ内外で活動する会員の知見や実践事例の収集と発信を継続し、会員の活動を促すニューズレターを年2回発行した。
- 広報発信を支えるウェブサイトの充実と利便性の改善を図るため、システムの改修を行なった。

2) 広報戦略の立案と発信の強化(理事会、ウェブ編集委員会、ニューズレター編集委員会)

- NPO法人としての広報ターゲットを「支援者」「受益者」「協働パートナー」と再定義し、FAJ活動を着実に伝えていくための広報戦略を立案した。

- 広報ターゲットに合わせたコンテンツを制作するための体制をウェブ編集委員会内に設置し、試験的な運営を行なった。併せて来年度の体制を検討し、新たに2019年4月からの広報委員会とシステム管理委員会の設置を決定した。

3) 会員相互のコミュニケーション基盤検討(理事会、ウェブ編集委員会、事務局)

- FAJ内部の対話と議論を促すコミュニケーション機能として、zoomのほか新しいツールも試行した。

6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

1) 組織のあり方と運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)

- FAJ15周年記念のオンライン対話イベントを皮切りに、全国の会員が参加可能なオンラインの「対話と議論」の場を作った。(延べ8回、100名程度)興味のあるテーマに会員が集まり対話を重ねた。
- 全国のFAJの運営に関わる人々が集まり(2日間・117名)リアルな交流を目的として全国運営スタッフ会議を開催した。サロン運営メンバーや、全国の運営メンバー間で交流が促進され、拠点の課題や未来のFAJを考える機会となった。
- 平成30年7月豪雨の支援活動において中央共同募金会より1,220,000円の助成金拠出を受けた。またIAF-JapanよりIAF大会の剰余金から710,404円の寄附金を受けた。

2) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- 制度改正への対応はなかった。

I 特定非営利活動に係る事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
北海道支部 定例会	4月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	37	8
	5月12日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	18	2
	7月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 3階 研修室4、5	3	29	7
	8月4日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	3	11	0
	9月1日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 3階 研修室2、4	4	10	1
	10月6日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	28	2
	11月10日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	15	2
	12月1日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	3	15	2
	1月5日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	4	21	2
	2月2日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 大研修室	2	17	1
3月2日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	16	1	
			受益対象者延べ人数		245
東北支部 定例会	4月7日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第4会議室	2	9	8
	5月12日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第4会議室	3	13	2
	6月9日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第2会議室	3	7	5
	7月7日	宮城県仙台市 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館) 602中会	4	11	4
	8月4日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第2会議室	3	14	6
	9月1日	宮城県仙台市 仙台市青年文化センター(日立システムズホール) 研	4	20	6
	10月6日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第1会議室	3	11	4
	11月3日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第2会議室	3	12	5
	1月5日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第2会議室	4	13	16
	2月9日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第1会議室	3	9	11
3月9日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 第2会議室	4	12	16	
			受益対象者延べ人数		214
東京支部 定例会	4月6日	東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)303学習室	8	9	9
	4月28日	東京都台東区 台東区民館第一、第二、第三、第四会議室	18	102	5
	5月26日	葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ レインボー、コンチェルト、ラベン	19	65	4
	6月8日	東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)303学習室	6	5	12
	6月23日	東京都北区 北とびあ 901、802、701会議室、第2研修室A、B	30	88	10
	8月3日	東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)304学習室	6	10	5
	8月25日	東京都台東区 台東区民館第二、第三、第四、第五会議室	13	81	5
	9月22日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホールA、B、C、大会議室、中	27	88	6
	10月12日	東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)304学習室	6	8	4
	10月26日	東京都千代田区 千代田プラットフォームスクエア会議室501+502、504+505、506、401	16	75	7
	11月24日	東京都目黒区 大橋会館 201~203、206、207教室、大教室	19	83	6
	12月1日~12月2日	群馬県安中市 碓氷峠コテージ「くつろぎの郷」	7	10	0
	12月7日	東京都港区 生涯学習センター(ばるーん)304学習室	6	4	4
	12月15日	東京都台東区 台東区民館第二、第三会議室	15	70	10
	1月26日	葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ レインボー、コンチェルト、ラベンダー、ライラック	22	79	11
2月23日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホールA、B、C、中会議室	15	75	4	
3月23日	東京都港区 青山いきいきプラザ 集会室B	8	16	4	
			受益対象者延べ人数		974
中部支部 定例会	4月21日	愛知県名古屋市 東桜会館集会室、東生涯学習センター第2集会室	3	51	21
	5月19日	愛知県名古屋市 東桜会館集会室、東生涯学習センター第2集会室	8	34	2
	6月16日	愛知県名古屋市 名城大学社会連携ゾーンshake	6	33	3
	7月21日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室	10	87	1
	8月18日	愛知県名古屋市 瑞徳生涯学習センター 第3集会室、東桜会館 第2	7	40	2
	9月15日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2集会	6	26	5
	10月20日	愛知県名古屋市 東桜会館集会室、東生涯学習センター第3集会室	6	23	1
	12月15日	愛知県名古屋市 東桜会館第2会議室、東生涯学習センター第2集会	5	26	1

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
中部支部 定例会	1月19日	愛知県名古屋 東桜会館第2会議室	5	15	0
	2月16日	愛知県名古屋 中村生涯学習センター 第3集会室、視聴覚室	4	31	2
	3月16日	愛知県名古屋 東生涯学習センター 第1集会室、第2集会室	4	22	8
			受益対象者延べ人数		434
関西支部 定例会	4月14日	大阪府大阪市 東淀川区民会館 会議室1、会議室2、洋室1	20	53	3
	5月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、301号室	10	61	7
	6月9日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、402号室、502号室 東京都目黒区 東工大蔵前会館 小会議室2	11	67	15
	8月4日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、301号室	7	39	3
	9月1日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、301号室、502号室	9	43	3
	10月13日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、301号室、502号室	21	42	6
	11月10日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、502号室	9	31	13
	12月8日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301号室、302号室、502号室	13	40	8
	12月29日～12月30日	兵庫県神戸市 スペースアルファ神戸	8	38	0
	1月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室、301号室、502号室	18	67	16
3月9日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301号室、303号室、502号室	9	49	7	
			受益対象者延べ人数		611
中国支部 定例会	4月21日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	13	4
	5月19日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	10	2
	6月16日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	9	5
	7月21日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	11	0
	8月18日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	6	3
	9月15日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	19	2
	10月20日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	11	3
	11月24日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	7	2
	12月15日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	4	2
	1月19日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	3	5
	2月16日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	7	3
				受益対象者延べ人数	
九州支部 定例会	4月7日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナー	3	31	2
	5月12日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	3	24	6
	6月9日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	3	24	5
	8月4日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	4	31	3
	9月1日	福岡県福岡市 福岡商工会議所	5	25	11
	12月1日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	6	23	2
	1月12日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	3	17	6
	1月25日	福岡県福岡市 はかた近代ビル1F105号室	6	3	8
	2月9日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナー	3	18	10
	3月2日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	3	31	3
			受益対象者延べ人数		283
ファシリテーション・シンポジウム	6月2日～6月3日	北海道札幌市 北海道大学学術交流会館	34	169	0
			受益対象者延べ人数		169
サロンサポート	—	地域型11か所(秋田・埼玉・群馬・新潟・富山・和歌山・岡山・四国・熊本・佐賀・沖縄)、テーマ型3か所(ビジネスファシリテーション・TOC×Facilitation、オンラインファシリテーション研究)	—	—	—
			受益対象者延べ人数		0

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
公開セミナー	4月21日	大阪府立男女共同・青少年センター(ドーンセンター)	11	13	22	
	5月12日	名古屋市・ABC会議室 第7会議室	5	5	15	
	5月19日	麻布台セミナーハウス	18	13	43	
	6月23日	京都府中小企業会館 805会議室・806会議室	11	4	35	
	6月16日	博多バスセンター9F第14会議室	7	5	15	
	7月22日	仙都会館5a会議室	6	8	6	
	7月21日	麻布台セミナーハウス	20	11	49	
	7月28日	沖縄産業支援センター	4	2	9	
	8月5日	機械振興会館	5	1	18	
	9月9日	名駅モリシタ名古屋駅前中央店 第4会議室	6	6	14	
	9月15日	麻布台セミナーハウス	20	18	42	
	10月20日	佐賀市市民活動プラザ	10	5	7	
	10月27日	大阪府立男女共同・青少年センター(ドーンセンター)	5	6	14	
	11月17日	麻布台セミナーハウス	17	6	35	
	11月17日	札幌市生涯学習センター「ちえりあ」	5	4	6	
	11月17日	新居浜市立女性総合センター(ウィメンズプラザ) 2階研修室	4	6	5	
	12月1日	さかえビル名古屋駅西口店 6階会議室	7	3	17	
	12月2日	機械振興会館	6	5	14	
	1月19日	麻布台セミナーハウス	15	3	52	
	2月16日	博多バスターミナル貸しホール第12・13	6	10	6	
	2月23日	PARM-CITY131 貸会議室 ANNEX 多目的ホール	6	10	2	
	2月23日	神戸センタープラザ西館 6階 17号室	5	6	13	
	2月23日	ピギー会議室3A	6	2	14	
	3月9日	札幌市産業振興センター	5	7	6	
	3月2日	さかえビル名古屋駅西口店 4階会議室	8	3	14	
	3月16日	麻布台セミナーハウス	17	16	38	
	受益対象者延べ人数					689
	アフターミーティング	5月12日	西宮市民会館 502号室	3	6	0
6月16日		目黒区男女平等・共同参画センター	11	6	3	
10月20日		目黒区中小企業センター	7	5	4	
12月8日		西宮市民会館 502号室	2	2	2	
2月16日		目黒区立中央町社会教育館	5	0	8	
受益対象者延べ人数					36	

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ファシリテーションサポート委員会					
サポートデスク	5月25日	広島県広島市 広島県西部地区MSW勉強会 ファシリテーション研修	1	0	22
	5月29日他1回	東京都北区 行政職員対象ファシリテーション研修	4	0	27
	6月8日	東京都港区 民間雑誌社編集部員向けファシリテーション研修	2	0	15
	6月15日他1回	東京都 私立大学研究室での議論分析支援	7	0	4
	6月19日他5回	東京都 民間企業(人材派遣)でのワークショップ進行支援	11	0	210
	7月22日	神奈川県横浜市 吸入療法ステップアップをめざす会 ファシリテーション研修	2	0	50
	7月31日他2回	宮城県登米市 行政市民協働課向け ファシリテーション研修	6	0	68
	9月10日	茨城県結城市 保健師対象 ファシリテーション研修	2	0	20
	9月4日	東京都目黒区 行政職員対象ファシリテーション研修	4	0	32
	10月3日	福島県会津若松市 自治体職員向けファシリテーション研修	2	0	17
	10月7日	山口県山口市 民間企業が行う学生向けワールドカフェの進行	2	0	200
	10月13日	福島県郡山市 財団所属介護福祉職員向けファシリテーション研修	2	0	54

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
サポートデスク	10月13日	北海道釧路市 医療安全ネットワークの看護師向けファシリテーション研修	2	0	40
	10月19日他1回	東京都北区 北区社会福祉協議会 ファシリテーション研修	4	0	44
	12月4日他3回	東京都練馬区 練馬区高齢者支援課地域包括支援係 ファシリテーション研修	8	0	111
	10月19日他1回	東京都北区 北区社会福祉協議会 ファシリテーション研修	4	0	44
	11月10日他1回	北海道深川市 北海道大学産学・地域協働推進機構へのファシリテーション研修	4	0	35
	11月13日	山口県防府市 山口県看護協会所属看護師向けファシリテーション研修	2	2	80
	11月14日	群馬県伊勢崎市 総合教育センターでの学校事務職員向けファシリテーション研修	3	0	101
	11月25日	神奈川県足柄上郡 神奈川県開成町男女共同参画 ワークショップの進行	2	0	27
	11月27日	宮城県大崎市 中央公民館職員対象のファシリテーション研修	2	0	35
	12月4日他3回	東京都練馬区 地域包括支援係向けのファシリテーション研修	8	0	111
	12月4日	東京都世田谷区 社会福祉法人子ども家庭支援センター職員向けファシリテーション研修	2	0	12
	1月21日	栃木県宇都宮市 栃木県社会福祉協議会でのファシリテーション研修	2	0	24
	1月31日	千葉県千葉市 千葉県社会福祉協議会介護職員向けファシリテーション研修	2	0	32
	2月9日	東京都港区 区民を対象とした市民活動事業の振り返り進行	2	0	13
	2月15日	滋賀県高島市 高島市社会福祉協議会の福祉施設勤務職員向けファシリテーション研修	1	0	35
	3月5日	東京都千代田区 民間団体事務局向けファシリテーション研修	1	0	9
	3月10日	東京都稲城市 中間支援NPOファシリテーション研修	2	0	17
	受益対象者延べ人数				
災害復興支援グループ	5月21日	熊本県嘉島町 嘉島町仮設等連携会議支援	1	0	22
	2018/5/28他3回 6月30日・7月1日他2回(4日間)	熊本県嘉島町 嘉島町地域支え合いセンター運営会議支援	4	0	46
		宮城県仙台市 ファシリテーター養成プロジェクトFANの実施	6		51
	2018/7/15他18回	広島県広島市など 平成30年7月豪雨災害支援広島ネットワーク会議支援	26	12	356
	2018/7/17他7回	東京都千代田区 H30年7月豪雨に対応する全国情報共有会議支援	16		160
	7月22日	広島県広島市 広島板書ボランティア養成練習会	2	30	
	8月29日	広島県安芸郡 坂町役場ヒアリング	1		5
	2018/10/16他4回	広島県安芸郡 坂町ささえ合いセンター企画調整会議支援	10		95
	2018/8/12他1回	東京都港区 板書ボランティア養成練習会	10	24	0
	2018/9/13他3回	北海道勇払郡 北海道胆振東部地震情報共有会議支援	4	4	88
	2018/9/18他1回	広島県安芸郡 坂町-嘉島町役場の情報共有会進行支援	3		85
	10月1日	山形県山形市 やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会進行支援	6		40
	10月21日	北海道札幌市 板書練習会	1	6	1
	11月3日	東京都港区 国土強靱化ワークショップ(HUG)進行支援	7		30
	11月30日	岐阜県岐阜市 内閣府「災害時における3者連携 協働に向けた研修会」支援	3		103
	12月17日	宮崎県宮崎市 内閣府「災害時における3者連携 協働に向けた研修会」支援	3		114
	12月21日	山口県山口市 内閣府「災害時における3者連携 協働に向けた研修会」支援	3		68
	2月11日	千葉県千葉市 内閣府「災害時における3者連携 協働に向けた研修会」支援	3		75
	3月9日	北海道札幌市 内閣府「災害時における3者連携 協働に向けた研修会」支援	2		46
	2月23・24日	静岡県静岡市 静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練支援	3		440
受益対象者延べ人数					1,901

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
グローバル ファシリテーション 推進委員会	9月7日～9月8日	大阪府大阪市 共催:IAF JAPAN IAF アジア大会2018(共催参照)	4		
	9月22日	東京都品川区 スクエア荏原 『第2回 グラレコのエッセンスを考え、描き、実践する!』	6	17	3
受益対象者延べ人数 20					
地域イベント	4月29日	東京都品川区 きゅりあん(品川区立総合市民会館) 第1特別講習室	12	4	12
	9月24日	東京都品川区 きゅりあん(品川区立総合市民会館) 第4講習室	13	6	17
	11月3日	大分県大分市 コンパルホール	9	18	61
	11月17日	愛知県名古屋市 名城大学社会連携ゾーンshake	11	38	36
	12月8日	宮城県仙台市 エルパーク仙台 スタジオホール	11	16	33
	2月9日	東京都台東区 浅草観光文化センター 大会議室	7	3	8
	2月9日	大阪府大阪市 大阪私学会館	18	33	78
	3月9日	東京都品川区 きゅりあん(品川区立総合市民会館)	22	86	49
	3月23日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース			
	受益対象者延べ人数 498				
共催・後援等イベント	7月7日	東京都港区 協力:NPO法人 OD Network Japan 2018年次大会	不特定多数		
	8月4日	広島県広島市 協力:公益財団法人広島県男女共同参画財団 JD わくわく未来カフェ vol.2	4	0	14
	8月18日	愛知県名古屋市 協賛:「みんなの学校」全国大会実行委員会 第2回「みんなの学校」全国大会in愛知	25	1	238
	9月8日～9月9日	大阪府大阪市 共催:IAF JAPAN IAF アジア大会2018	40	153	
	11月1日～12月7日	web上 協力:名古屋工業大学 合意形成支援システム「HAMAgree」社会実験	2	798	
	3月22日～3月23日	京都府京都市 後援:ハテナソン国際フォーラム	13	149	
受益対象者延べ人数 1353					

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ニューズレター	年2回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	6	約1500	-
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	会員	不特定多数	
メーリングリスト SNS	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	会員	約1500	-

6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	6月3日	北海道札幌市 北海道大学学術交流会館	110	-	-
理事会	4月15日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	16	-	-
	5月20日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	14	-	-
	6月3日	北海道札幌市 北海道大学学術交流会館	13	-	-
	7月1日	大阪府大阪市 ホテルフクラシア大阪ベイ(旧コスモスクエア国際交流センター)	13	-	-
	8月12日	各所オンラインにて臨時理事会	7	-	-
	8月18日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	13	-	-
	9月16日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター 会議室	14	-	-
	10月21日	大阪府吹田市 ウイルハーツセミナールーム	14	-	-
	11月23日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、各所オンラインにて実施	12	-	-
	12月16日	愛知県名古屋市 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス西館 DW204	12	-	-
	1月20日	YS 新大阪ビル 3F(大阪府大阪市)	12	-	-
	2月24日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、各所オンラインにて実施	14	-	-
	3月17日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	15	-	-

Ⅱ その他の事業

実施しなかった。

平成30年度「特定非営利活動に係る事業」会計活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	14,540,000		
法人会費	0	14,540,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	1,415,000		
教育・普及事業収入	13,903,200		
助言・支援事業収入	4,367,107		
交流・親睦事業収入	1,634,500	21,319,807	
3 寄付金収入			
個人寄付金	22,299		
法人寄付金	710,404	732,703	
4 助成金	1,220,000	1,220,000	
経常収入合計			37,812,510
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	5,806,661		
教育・普及事業費	10,340,219		
助言・支援事業費	5,742,401		
交流・親睦事業費	1,757,742	23,647,023	
2 管理費			
広報費	319,770		
交通宿泊費	8,272,645		
謝礼等	0		
会議費	703,849		
事務消耗品費	178,171		
通信運搬費	179,664		
雑費	393,049		
資料印刷費	678,768		
総会関係費用	551,409		
諸会費	45,000		
外部委託料	1,443,415		
支払手数料	493,684		
租税公課	380,800		
賃借料	963,299		
システム費		14,603,523	
経常支出合計			38,250,546
経常収支差額			△ 438,036
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	17,849		17,849
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0		0
当期収支差額			△ 420,187
前期繰越収支差額			35,176,612
次月繰越収支差額	0		34,756,425

平成30年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
小口現金	0		
普通預金 三菱UFJ銀行〔経費〕	1,082,246		
普通預金 三菱UFJ銀行〔継続〕	6,373,590		
普通預金 三菱UFJ銀行〔新規〕	3,096,481		
普通預金 三井住友 #8658339	6,855,641		
普通預金 三井住友 #8981999	6,800,416		
普通預金 三井住友 #8982005	6,532,700		
普通預金 三井住友 #9297309	6,530,870		
当座預金 ゆうちょ銀行	0		
棚卸資産	0		
未収入金	944,562		
前渡金	1,105,968		
前払費用	0		
仮払金	0		
流動資産合計		39,322,474	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0		
固定資産合計			0
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			39,352,054
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,812,394		
前受金	1,640,000		
仮受金	0		
預り金	143,235		
流動負債合計	4,595,629	4,595,629	
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			4,595,629
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		35,176,612	
当期正味財産増加額		△ 420,187	
正味財産合計			34,756,425
負債及び正味財産合計			39,352,054

平成30年度「その他の事業」活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

平成30度「その他の事業」会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0
			0
			0

平成30年度会計財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金 三菱UFJ銀行西新宿支店	1,082,246	
普通預金 三菱UFJ銀行西新宿支店	6,373,590	
普通預金 三菱UFJ銀行西新宿支店	3,096,481	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,855,641	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,800,416	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,532,700	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,530,870	
当座預金 ゆうちょ銀行〇一九店	0	
棚卸資産	0	
前渡金 平成31年度会場代	1,105,968	
前払費用	0	
未収入金	944,562	
流動資産合計	0	39,322,474
2 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
3 投資その他の資産		
差入保証金 レンタルスペース	29,580	
資産合計	29,580	39,352,054
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,812,394	
前受金 平成31年度年会費・受講料	1,640,000	
預り金 講師謝礼源泉所得税	143,235	
流動負債合計		4,595,629
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		4,595,629
正味財産		34,756,425

平成 30 年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

平成 31 年 4 月 14 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会 長 平井 雅



監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会 長 平井 雅 殿

特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

業務については月次の理事会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保障を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成 30 年度の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の財産の状況は適正なものと認められます。

平成 31 年 4 月 14 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監 事 小 藤 輝 正



監 事 長 橋 良 智



令和元年度事業計画書

令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

事業計画のポイント

2019年度のFAJは、「原点を見つめ直しながら、ワクワクな改革を始める」をキーワードとして以下の2点を重点的に取り組みます。

- ・「組織のあり方とやり方を考える対話と議論」をさらに深めながら、ワクワクする改革を開始します。
- ・「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」ためのファシリテーションの普及と探究を継続します。

日本ファシリテーション協会(FAJ)は、ファシリテーションの普及を通して自律・分散・協働型の社会を目指すNPOとして昨年創設15周年を迎えました。日本各地でファシリテーションの活用事例が増え、認知度が高まる中で、多くの会員がFAJ活動の中でファシリテーションを学び、ビジネスや行政、地域コミュニティ、災害復興、教育、医療、福祉など多様な分野で活用しながら、それぞれの現場で課題に立ち向かって試行錯誤しています。

改めて、これまでのFAJの事業計画スローガンを見返してみると、「FAJ内の求心力を高め活動のエンジンを持続可能に回すこと」、「そのちからを社会(外)に向かって伝え、様々な分野の現場での実践により成果をあげること」の2つの力点の間を行き来しながら活動してきたことがわかります。もしくは、ファシリテーションの本質的な価値の探究と、それを応用して広げることの間の行き来ともいえるかもしれません。それらはまるでグルグルと円を描きながら螺旋階段を上昇するような成長のプロセスでした。「伝統は革新の連続である」というように、新しいことに挑戦することで守るべきものが見えるとするなら、何を原点として大切に、何を改革するのかを見極めることで、私たちの活動はこれからも螺旋状に進化していくことができるでしょう。

また、私たちFAJのこれまでの活動を振り返ってみると、「やってみたい」、「試してみたい」「変化をおこしたい」というワクワク感が原動力でした。今年度は、そのワクワク感を大切にしながらFAJ活動の意義とこれまでの成果を再確認するとともに、対外的に伝える活動を展開します。

年度	スローガン
2007年度	現場に出よう!
2008年度	現場をつくろう!
2009年度	現場をつなごう!
2010年度	<わたし>のちからを、<わたしたち>のちからへ。
2011年度	あらたなくつながり>のために ~<ちから>を育み、<うごき>をつくる~
2012年度	ミッションに立ち返り、FAJのあり方・やり方を、次の10年を見据えて考える
2013年度	次の10年も社会へ貢献し続けるため会員が継続的に自己研鑽しファシリテーション力を高めていける仕組み作り
2014年度	実践者となり成果を上げる
2015年度	〇〇 × ファシリテーション
2016年度	越えてつなげる
2017年度	ファシリテーションのインパクトを現場に届ける
2018年度	対話と議論でFAJ活動の意義を問い直す

■「組織のあり方とやり方を考える対話と議論」をさらに深めながら、ワクワクする改革を開始します。

各拠点の運営の場や全国運営スタッフ会議での議論を踏まえて、組織のあり方とやり方を考える対話と議論を加速させ、大切に守ることと改革することを明確にしていきます。そしてそこから生まれるアイデアを素早く形にできるように積極的に試行します。

■「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」ためにファシリテーションの普及と探究を継続します。

社会課題の解決に取り組む会員同士が学びあい、エンパワーしあいながらファシリテーターとしての実践を通してインパクトにつなげます。また、対外的な発信を強化し、外部の協働パートナーとのコラボレーションにより社会へのインパクトの相乗効果を高めます。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します(括弧内は担当組織を表します)。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、FAJ内外の連携を深め、実践力の相互研鑽の場をつくっていきます。

1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会、プロジェクト)

- 定例会や例会においては、「学び」と「実践」双方の視点からファシリテーターとしての成長を目指したコンテンツを開発し実施します。プロジェクトにおいては、テーマの特性を踏まえた調査・研究を行います。調査、研究した結果については振り返りや成果発表を実施することで学びを深め実践につなげます。
- 各支部・サロン・委員会の活動から生まれた、企画やプログラムのアイデアについて交流、対話を通して共有し、相互に活かせる場を継続してつくります。

2) ファシリテーションの本質を探究(理事会)

- 全国や世界で活躍するFAJ内外のファシリテーターが一堂に会し、ファシリテーションの知見を共有し、本質を探究し合う巨大イベントの開催を検討します。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

教育・普及事業では、これまで提供してきた公開セミナーをより広く展開できるように、継続強化するとともに、公開セミナーの新たな事業である「実践編セミナー」の展開に向け、さらなる推進を行います。

1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- ファシリテーションの普及のため全国各地で公開セミナーを開催します。
- 今後も質の高いセミナーを継続的に開催できるよう、講師の増強、レベルアップを推進するとともに、セミナーコンテンツを継続的に改良します。
- 前年度設置したセミナー・サポートセンター(SSC)が中心となり、地域を越えて相互協力し、セミナー運営の効率化や集客の取り組みなどを行います。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討(公開セミナー委員会)

- これまでのパイロット結果、参加者からのフィードバックを踏まえて、コンテンツをさらにブラッシュアップすると同時に、講師体制や運営体制の確立を行い、実践編セミナーの事業化を進めていきます。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、ファシリテーションを活用した支援を行います。

1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実(ファシリテーションサポート委員会)

- ファシリテーションサポート委員会では、行政・各種団体・NPO・企業等の多様な分野から寄せられる様々な相談や依頼に対し、抱えている課題やニーズを丁寧にヒアリングし、会員を適切にコーディネートすることで、ファシリテーションを活用した支援を行います。
- 依頼及び実施案件の分析を踏まえて、今後の支援助言事業の方向性を検討します。

2) 災害復興・防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援(災害復興委員会)

- 災害復興委員会として運営を開始し、これまで災害復興支援活動において関係を育んできた団体を中心に、被災地それぞれの復興フェーズに合わせた支援を行います。
- FAJ内外において被災地の復興をファシリテーションで支援する人材の発掘・育成を行います。
- JVOAD等の外部支援団体との交流を進め、災害復興・防災・減災に役立つファシリテーションの普及に取り組めます。

3) 支援活動への理解の促進(ファシリテーションサポート委員会、災害復興委員会)

- 会員や社会に対し支援助言事業の活動をより見えるようにし、本事業の効果・意義を広く伝えていきます。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では各種イベントや関連団体との交流を通じて、FAJの内外のつながりをさらに深めます。

1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 各支部において地域イベントを開催することで、FAJ内外の交流を深め、ファシリテーションの普及と探究を促進します。

2) 国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化(グローバルファシリテーション推進委員会)

- IAFとのさらなる連携強化や情報交換を目的に、本年度のIAFマレーシア大会へFAJ会員を公募により派遣します。
- グローバル化に対応したファシリテーションへのニーズの把握や知見を高めるために、様々な分野での交流・親睦を検討、実施します。
- グローバル委員会の設立目的に立ち返り、現状の課題を改めて整理・検討し、時代に合わせて今後のあり方を明確にします。

3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、事務局)

- IAFをはじめとするファシリテーションの普及・研鑽に関わる団体と、協働パートナーとしての活動を進めます。
- 各分野で活動している外部団体とファシリテーションを軸にコラボレーションを進めます。また、FAJ外部のファシリテーターとの連携を深めます。

5 広報・コミュニケーション活動

ファシリテーションのインパクトをより効果的に社会に伝えるとともに、FAJのミッションや活動を、将来の会員や支援先、協働パートナーに発信するための広報を展開します。また、会員相互のコミュニケーションの充実を図ります。

1) 広報戦略の立案と発信の強化(理事会、広報委員会)

- 広報戦略の詳細を検討し、具体的な広報活動に落とし込みます。
- 広報ターゲットに合わせた広報活動を継続的に推進するために、広報委員会を新設し運営を開始します。

2) FAJ活動を内外に発信する広報活動の実施(広報委員会)

- ファシリテーションに関する知見や会員の実践事例を収集し、効果的に発信します。
- ニュースレターを発行し、会員相互で知見を共有することで積極的な活動を促します。
- 広報ターゲットにあわせたWebのコンテンツの充実を図り、情報発信を強化します。

3) 会員相互のコミュニケーションの充実(理事会、広報委員会、システム管理委員会、事務局)

- 会員相互のネットワークを生み出すためのコミュニケーション機能について、検討を継続的に行います。
- システム管理委員会を新設し、情報共有方法やツール活用などを検討することで、運用の円滑化を図ります。

6 ミッション及び組織運営に関わる活動

全国の会員がリアル／オンラインの場で対話と議論を重ねながら、FAJ活動の意義を問い直し、よりよい運営方法を考えることで、そのあり方とやり方を検討します。

1) 組織のあり方と運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)

- FAJ活動の意義と成果を再確認し、大切に守ることと改革することを明確にするため、組織のあり方と運営のやり方の対話と議論を継続します。
- FAJ活動をより自律・分散的にするために、これまでの予算・決算の状況を踏まえ、今後の事業のあり方と予算作成のやり方について検討します。

2) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- FAJとしての活動を維持・向上させるために、NPO法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

FAJビジョン3.0

タテ型社会の常識からヨコ型社会の知恵へ (社会の視点・ファシリテーションの視点)

- ① 社会を構成する多くの人が、**対話と議論の手法や知恵**を自ら学び活用し、協働している。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合いともに歩む**ヨコ型社会**を目指して変革をはじめている。

強い意志を持ったイノベーターのネットワークへ (ファシリテーターの視点・FAJの視点)

- ③ 社会や組織の課題を解決したいと願う挑戦的な**イノベーター**が、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターの**ネットワーク型組織**が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。

ビジョンを実現するためのFAJの行動

- ① 社会を構成する多くの人が、対話と議論の手法や知恵を自ら学び活用し、協働している。
 - FAJは、個々の思いを機敏に具現化して、着実にイノベーションへとつなげる集合知を創生する。
 - FAJは、課題解決や変革を必要としている組織・コミュニティにファシリテーションのスキルとマインドを届ける。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合い、ともに歩むヨコ型社会を目指して変革をはじめている。
 - FAJは、社会に深く根を張る上意下達型・ヒエラルキー型の思考様式と行動様式を打ち破り、多様な人々が自律的につながるネットワーク型組織の成功事例を、身をもって実現する。
 - ファシリテーションが生んだ成功事例を集め、その有用性や応用可能性、社会に与えるインパクトをアピールする。
- ③ 組織や社会の課題を解決したいと願う挑戦的なイノベーターが、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
 - FAJに集まる野心的なファシリテーターが、国際的紛争や新しい分野など、それぞれの現場に向き合って耕し、その課題解決に挑戦し、成果を上げている。
 - FAJに集まるファシリテーターが、ヨコ型社会における新しいリーダーシップに挑戦している。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターのネットワーク型組織が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。
 - FAJは、地域や特定分野での実践的な活動を支援する拠点やプロジェクトを臨機応変に立ち上げ、自覚と責任を持って変革を進める人々を輩出し、それらの場をつなぐネットワークのハブとなる。
 - FAJは、ファシリテーションに関する知識と経験を深めるため、研究と試行を重ね、地域や分野、世代を超えて実践者が刺激し合う相互研鑽の場となる。

ミッション

ファシリテーションの普及を通じて、ビジネス分野においては、生産性・モチベーション・リーダーシップ力を向上させ、社会的な分野では、市民活動・地域経営・国際交流の質を高め、教育の分野では、多面的な視点を持つ人材を育成していくことをめざしています。

ビギナーからプロフェッショナルまで、ビジネス・まちづくり・NPO・教育・環境・医療・福祉など、多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の発展をめざして、幅広い活動を展開していきます。

以下、計画の詳細について記載します。

【A】特定非営利活動にかかる事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
北海道支部 定例会	通年 (11回)	北海道	33名 (3名×11回)	会員330名、一般33名 (会員30名＋一般3名)×11回
東北支部 例会	通年 (10回)	宮城	20名 (2名×10回)	会員150名、一般50名 年間10回
東京支部 定例会	通年 (11回)	東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬等	220名 (20名×11回)	会員770名、一般176名 (会員70名＋一般16名)×11回
中部支部 定例会	通年 (11回)	愛知	66名 (6名×11回)	会員440名、一般77名 (会員40名＋一般7名)×11回
関西支部 定例会	通年 (11回)	大阪・京都・兵庫	132名 (12名×11回)	会員550名、一般88名 (会員50名＋一般8名)×11回
中国支部 定例会	通年 (11回)	広島	33名 (3名×11回)	会員132名、一般33名 (会員12名＋一般3名)×11回
九州支部 定例会	通年 (11回)	福岡	33名 (3名×11回)	会員330名、一般55名 (会員30名＋一般5名)×11回
サロンサポート	—	地域型12カ所 テーマ型4カ所	—	—

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (46クラス)	東京・大阪・愛知 ・広島・福岡等	230名 (5名×46クラス)	会員368名、一般552名 (会員8名＋一般12名)×46クラス
事業検討	未定	—	—	—

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション サポート委員会	通年 (50回)	全国	100名 (2名×50回)	一般1,500名 (一般30名×50回)
災害復興委員会	通年 (30回)	全国	60名 (2名×30回)	一般900名 (30名×30回)

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバル ファシリテーション 推進委員会	9月	マレーシア	5名	不特定多数
	未定	愛知	-	-
	未定	福岡	-	-
	未定	東京	-	-
	未定	札幌	-	-
	未定	仙台	-	-
	未定	大阪	-	-
	-	-	-	-

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
広報委員会				
ニューズレター	3回	全国	24名 (8名×3回)	会員 1,500名
ウェブサイト	通年	全国	20名	不特定多数
メーリングリスト等	通年	全国	20名	会員 1,500名

【B】その他の事業

実施しません。

令和元年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本フアンシテーション協会

科目	2019年度予算	予算内訳												
		事務局	北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	プロジェクト	公開セミナー	ファンサボ	災害復興
I 収入の部														
1 会費収入														
個人会費収入	15,500,000	15,500,000												
法人会費収入	200,000	200,000												
	15,700,000	15,700,000												
2 事業収入														
調査・研究事業収入	255,000			66,000	50,000	40,000	24,000	75,000						
教育・普及事業収入	16,070,700										16,070,700			
支援・助言事業収入	5,650,000											3,900,000	1,750,000	
交流・親睦事業収入	2,283,500		260,000	810,000	226,000	400,000	220,000	200,000	167,500					
	24,259,200		260,000	810,000	292,000	450,000	260,000	224,000	242,500		16,070,700	3,900,000	1,750,000	
3 寄付金収入														
個人寄付金														
法人寄付金														
4 助成金等収入														
民間助成金														
収入合計	39,959,200	15,700,000	260,000	810,000	292,000	450,000	260,000	224,000	242,500		16,070,700	3,900,000	1,750,000	
II 支出の部														
1 事業費														
調査・研究事業支出			北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北	サロン	プロジェクト			
会場使用料	3,053,700		195,200	1,500,000	358,500	400,000	120,000	190,000	120,000	170,000				
事務消耗品費	441,000		20,000	130,000	40,000	120,000	30,000	44,000	40,000	17,000				
交通宿泊費	2,600,000		510,000	150,000	225,000	380,000	180,000	210,000	240,000	705,000				
謝礼等	992,000		56,000	350,000	280,000	170,000	30,000	50,000	56,000	会場使用料				
印刷費	157,400		15,000	50,000	20,000	25,000	12,000	15,400	20,000	(各1万)事務				
会議費	430,000		15,000	200,000	20,000	75,000	60,000	30,000	30,000	消耗品費				
雑費	149,000		3,000	70,000	10,000	30,000	5,000	11,000	20,000	(各0.1万)交				
予備費	0									通宿泊費(各				
研究開発費	60,000									3万,沖4.5万)	(3万			
	7,883,100		814,200	2,450,000	953,500	1,200,000	437,000	550,400	526,000	892,000	60,000			
教育・普及事業支出												公開セミナー		
会場使用料	2,527,200											2,527,200		
事務消耗品費	287,000											287,000		
交通宿泊費	3,720,000											3,720,000		
謝礼等	5,008,239											5,008,239		
印刷費	621,000											621,000		
会議費	290,000											290,000		
雑費	150,749											150,749		
研究開発費														
	12,604,188											12,604,188		
支援・助言事業支出													ファンサボ	災害復興
会場使用料	100,000												100,000	100,000
事務消耗品費	80,000												60,000	20,000
交通宿泊費	3,470,000												910,000	2,560,000
謝礼等	2,200,000												1,600,000	600,000
印刷費	30,000													30,000
会議費														
雑費	10,000												5,000	5,000
	5,890,000												2,575,000	3,315,000
交流・親睦事業支出			北海道	東京	中部	関西	中国	九州	東北					
会場使用料	1,120,000		85,000	310,000	100,000	350,000	50,000	100,000	25,000			GFGC		
事務消耗品費	200,000		10,000	100,000	10,000	35,000	10,000	25,000	10,000			100,000		
交通宿泊費	820,000		100,000	50,000	60,000	100,000	50,000	100,000	40,000			320,000		
謝礼等	449,000		56,000	56,000	56,000	115,000	60,000	50,000	56,000					
印刷費	135,000		14,000	39,000	12,000	30,000	20,000	10,000	10,000					
会議費	100,000		5,000	46,000	10,000	20,000	5,000	4,000	10,000					
雑費	449,500		79,000	155,000	60,000	100,000	15,000	4,000	16,500			20,000		
外部委託料	208,000			180,000	18,000		10,000							
	3,481,500		349,000	936,000	326,000	750,000	220,000	293,000	167,500			440,000		
事業予備費	1,000,000													
事業費計	30,858,788		1,163,200	3,386,000	1,279,500	1,950,000	657,000	843,400	693,500	892,000	60,000	13,044,188	2,575,000	3,315,000
2 管理費		事務局	システム	広報										
登録料等	0													
広報費	960,000	300,000	160,000	500,000										
交通宿泊費	5,520,000	3,300,000	400,000	1,820,000										
謝礼等														
会議費	270,000	200,000	30,000	40,000										
事務消耗品費	50,000	50,000												
通信運搬費	131,000	131,000												
諸会費	95,000	95,000												
雑費	610,000	10,000		600,000										
資料印刷費	928,500	75,000		853,500										
総会関係費用	1,070,000	1,070,000												
外部委託料	2,254,000	2,254,000												
支払手数料	500,000	500,000												
賃貸料	980,000	980,000												
減価償却費														
租税公課等	330,000	330,000												
システム費														
管理費計	13,698,500	9,295,000	590,000	3,813,500										
支出合計	44,557,288													
当期収支差額	-4,598,088													
前期繰越収支差額	34,563,412													
次期繰越収支差額	29,965,324													

<第3号議案> 令和元年度役員の選任について

(普通決議:総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 令和元年度の理事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 亀井 直人
再任 小池 秀裕
再任 竹本 記子
再任 中西 百合
再任 中野 功
再任 本宮 大輔
新任 小栗 由香
新任 斉藤 俊哉
新任 高橋 尚矢
新任 津田 壮彦

2. 令和元年度の監事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 小藤 輝正
新任 上井 靖